

オーストラリア生活文化体験& ホームステイ



プログラム参加

374,000円

旅行代金

124,000円

期 間

平成29年7月26日(水)～8月6日(日)
* 出発日の前日は、事前研修会です

対象・定員

中学校1年生～高校3年生
20名(最少催行6名)

場 所

ニューサウスウェールズ州バサースト

協 力

バサースト教育委員会

利用航空会社

キャセイパシフィック航空(香港経由)

*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『事業概要』の項目をご参照ください

プログラム(予定)

7/25 (火)	夕刻	事前研修会
7/26 (水)	午前	成田空港出発(香港乗継)
7/27 (木)	朝	シドニー空港到着
	日中	シドニー市内見学 (オペラハウス・ハーバーブリッジ・動物園)
	午後	車にてバサーストへ移動
	夕方	ホストファミリーとマッチング
7/28 (金)	終日	中・高校訪問(All Saints School)
7/29 (土)	終日	ホストファミリーと過ごす
7/30 (日)	終日	ホストファミリーと過ごす
7/31 (月)	終日	バサースト市内見学 (牧場体験、BBQランチ)
8/1 (火)	終日	中・高校訪問(Kelso High School)
8/2 (水)	終日	中・高校訪問(Kelso High School)
8/3 (木)	午前	老人ホーム訪問
	午後	市役所表敬訪問
8/4 (金)	終日	Abercrombie 洞窟見学
8/5 (土)	朝	ホストファミリーとお別れ
	午前	世界遺産ブルーマウンテン見学
	午後	シドニーで博物館見学、ショッピング
	夜	シドニー空港出発(香港乗継)
8/6 (日)	午後	成田空港到着、通関後解散

*日本文化紹介は、学校訪問で行います。

*天候等によりスケジュールが変更になる可能性があります。



特色

- ホームステイは1家庭に原則2名
* 全体人数が奇数の場合は、3名の家庭もあります
- 中学校～老人ホームまで、幅広い世代交流
- コアラ・カンガルー・ワラビー・羊など、多種の動物と触れあえます
- オペラハウスやブルーマウンテンなど世界遺産見学

現地情報

気 候 : 冬は雨が降らないので、毎日心地よい晴天が続きます。日中は日差しが暖かです。

気 温 : 最高気温 12℃ 最低気温 1℃ (7・8月)

時 差 : 日本が1時間遅れています。

現地通貨 : オーストラリアドル



小学校訪問交流



学校訪問



老人ホームでの異世代交流



牧場訪問

体験記

山形県 中2 女子

感動したことはまず、ハーストの景色です。空が広くて、すいこまれそうっていうのはこういうことなんだなと思いました。また、夜、ホストファミリーの人たちとキャンプファイヤーをした時見た星空も、日本とはまた違って感動しました。南十字星を見ました。「サザンクロス」ということを教えてもらいました。天の川を見ました。プラネタリウムでみているような星空で、寒さを忘れるほどでした。オーストラリアでは初めて体験するものがたくさんありました。体験させてくれたホストファミリーの人達、リーダーには感謝しています。感動したことは私の心にずっと残ると思えました。驚いたことは、味付けが思いの外濃かったことです。何にでもハーベキューソースをかけるのにはビックリでした。また、日本人よりも気さくで、とまどってしまうことが多かったです。フレンドリーに初対面でも接せられるのはさすがだなと感心しました。積極性って大切だと思います。オーストラリアにはたくさんの驚きがありました。日本と違ってのもの、日本では体験できないことなど、この1つ1つが学びにつながるのかなと思いました。私は、正直英語はあまり得意ではありません。どう学べばいいかがつかみにくかったからです。でも、今回の感動や驚きは全て英語しか無い世界で自分が感じたことでした。それは、英語を好きになるきっかけになりました。知らず知らずのうちに学びを深めていたことに気付きました。

この経験を生かして、将来、海外で働きたいと思うようになりました。世界は広い、そう思ったからです。この体験は私が進む勇気になってくれました。本当に参加して良かったです。

体験記

岡山県 中3 男子

僕は、外国へ行ってみたい、外国の文化に触れてみたい、英語でどれくらいコミュニケーションがとれるか試してみたいという気持ちがあり参加した。出発してから現地に着く間、とても緊張していたけど、色々な人が僕たちに話しかけてくれたお陰で、緊張がほぐれていった。オーストラリアに着いて、まず感じた事は、日差しだ。日本が夏の今、オーストラリアは冬で、寒さも厳しいと聞いていた。しかし昼間の日差しはじりじりと肌を焼き付けた。冬という事を忘れるくらいだった。僕はローソン夫妻の家にホームステイをさせてもらった。最初は緊張していたり、気を遣いすぎたりして沈黙が続いたが、勇気を出して自己紹介をしていくうちに仲良くなっていった。ローソンさんの家は農家で、広い農場を持っていた。その農場では牛250頭、鶏15羽、犬2匹を飼っていた。僕は2回ほど牛の餌やりを手伝った。餌やりを手伝っていると、カンガルーやワラビーやキツネがいた。僕は新鮮な卵を毎朝食べさせてもらった。それは今まで食べた事がない濃厚な味で、今も忘れないくらい美味しかった。毎晩、家族でUNOをした。UNOをしながら、その日のことをみんなで話した。身振り手振りを交えたり、紙に書いたりしながら一生懸命伝えようとした。ローソンさんはうなずきながら、質問を交えながら笑顔で聞いてくれていた。会話が成り立っていたように感じられたのは、伝えたい気持ちと相手の方かろうとする気持ちがあったからだと思う。この研修に参加して、僕はもっと英語で話せるようになりたいと思った。一緒に研修に参加した友達の中には、僕よりはるかに英語を使ってコミュニケーションをとっている人がいた。自信を持って話している彼の姿は、とても刺激的だった。僕は、日ごろの英語の授業や宿題をもっと丁寧に取り組んでいこうと思う。